正誤表(第５版　実験化学講座第１巻)

p. 3 下から 2 行目から 3 行目　　Stan-darization　→ Stand-arization
p. 9　表 1.4 中　TOD*1 → TOD*2
p. 10, 5 行目　　E_s → E_x
p.39, 11 行目 CO_3^{2-} ・・・の二重記載.
p.60, [大量]　8 行目　25 → 25 ℃
p. 93, 1, 2 行目　　20×20 cm → 20×20 cm^2
p. 110, 下から４行目　物質おす形　→物質をおす形
p. 111, 本文下から 4 行目　TS　→　　$
p.115, 下から 8 行目　移すの操作 →移す操作
p. 125, [注]　g_n ではなく g_n という　　→ g_n ではなく g_n という
p. 129, 5 行目　また，前者の入用を In または TC とし，後者の受け用を Ex または Tc としている．→また，入用を In または TC とし，出用を Ex または TD としている．
p. 142, 最終行　995 → 99.5
p. 151, 21 行目　湯浴試用　→湯浴使用
p. 168, 20 行目　左　→ 右
p. 169, 下から 3 行目　6% → 96%
p. 170, 14 行目　滴定の標準溶液となる塩酸を調製することができる．→以前には，滴定の標準溶液となる塩酸を調製することにも用いられた.
p. 200, 最終行　アルケン，アルケン　→ アルケン，アルキン
p. 202, 参考文献　pp. 245 → p. 245
p. 204, 図 2.66　ダンバー　→ ダンパー
p. 209, 表の注　/2.3/RTA_s → /2.3 RTA_s
p. 215, 表 2.18　semi rigid　→ semi-rigid
p. 252, 4 行目　1 割り当て → 1 に割り当て
p.260, 表 3.1 と p. 302, 2 行目 小柴正俊 →小柴昌俊
p. 309, 下から 14 行目　3,465.02 → 3465.02
p. 333, 6 行目　　http://pdmac1.pd.saga-u, ac.jp/.. →　http://pdmac1.pd.saga-u. ac.jp/..
p. 348, 下から 5 行目　日本化学学会 →日本化学会
p. 350, 1 行目　　45 行　→　4, 5 行
p. 352, 下から 9 行目　　小沢明弥　→ 小沢昭弥
p. 357, 下から 2 行目　　日本語にに　→　日本語に
p. 361, 下から 10 行目　　$AlK(SO_4)$ → $AlK(SO_4)_2$
p. 367, 1, 2 行目　　pentaammminechromium → pentaamminechromium
p. 375, 10 行目　左から番号　→ 右から番号

p. 375, 下から 6 行目　　ane-　→ ane

p. 376, 図 4. 11　alkyloxy(アルコキシ)　→ alkoxy(アルコキシ)

yne(イン)　C=C　→ yne(イン)　C≡C

図 4. 11 のカルボニトリル以後８項目の化学式とずれている．

すなわち，carbonitrile(カルボニトリル)　CN, carbaldehyde(カルバルデヒド)　CHO, al(アール)　CHO, one(オン) CO, ol(オール) OH, thiol(チオール) SH, amine（アミン）　NH_2, imine(イミン)　=NH

p. 386, 図 4.12 の説明中　　$\log_{10}(T_{\tau}/\mathrm{s\ K})$ → $\log_{10}(T\tau/\mathrm{s\ K})$

p. 389, 9 行目　g=　→　g =

p. 394, 下から 2 行目　　T/K　→ T/K

p. 413, 3 行目　　できようになった．→ できるようになった.

p. 423, 6 行目　　操作を，行うと，　→ 操作を行うと，

p. 446,　　Søensen → Sørensen　　セレーセン　→ セーレンセン

p. 448,　エンドキャンピング　--> エンドキャッピング

p. 451,　硬質充填剤　→ 硬質充てん剤

パラメータの　→ パラメーターの

p. 452,　充填剤 →充てん剤

p. 454,　セレーセン　→ セーレンセン

p. 461,　　JIS の索引の記載もれ　　K 0102 35.1　　p. 32

K 0970　　p. 132

K 8101　　p. 142

K 8103　　p. 142